

本資料は（一財）社会変革推進財団との業務委託契約に基づき、SIMIの責任において制作されました。原著の著作権は当該資料を作成した作者にあり、日本語化された資料の著作権は（一財）社会変革推進財団及び（一財）社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブにあります。
(<https://simi.or.jp/grc>)

GIINsight 2023 (Vol.1, 2) インパクト投資家 実態調査

GIINsight 2023

Volume 1 Impact Investor Demographics

Volume 2 Impact Investing Allocations, Activity & Performance

GIIN

2023年6月

浦橋 信介 抄訳・まとめ

報告書の概要

GIINsight

- GIINは、定期的にインパクト投資の市場調査GIINsightを実施しており、2022年レポートでは、インパクト投資のグローバル市場を1.164兆ドルと試算。
- 今年のGIINsightは、**4部構成**となっており、インパクト投資市場の**包括的な全体像**を提供すると共に、投資家にとって**実践可能なインサイト**に力点を置いて取りまとめられている。
- また2018年調査からの継続回答者を対象に**時系列分析**も実施している。

インパクト投資家実態調査 (Vol.1, 2)

- Vol.1では、インパクト投資家の特徴を分析し、その多様性を明らかにしている。
- Vol.2は、Vol.1に引き続き、インパクト投資家の動向を、資産配分や、パフォーマンス等に関して、より詳細に分析している。
- 2023年GIINsightシリーズ全体の、調査サンプル概要は以下の通り。

配布数	2,000超
サンプル数	308 (回答者の内、AUM \$10M超又は、インパクト投資実績5件以上を使用)
時系列分析	88 (2018年調査(2017年時データ)にも回答したサンプルのみを使用)

Volume 1 Impact Investor Demographics

インパクト投資家 実態調査



調査サンプルの属性

FIGURE 1: Organization Type

n = 308

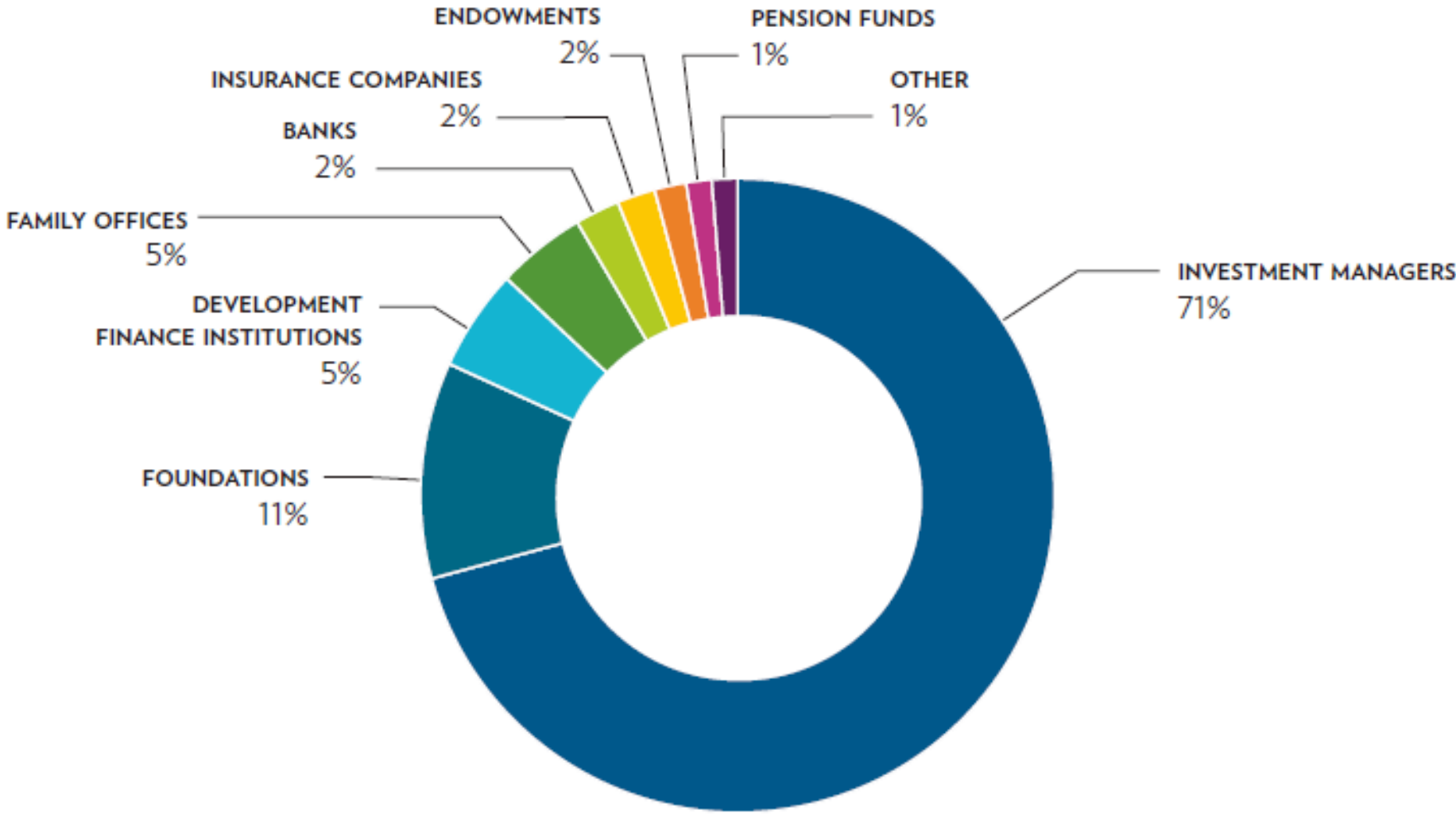


FIGURE 2: Organizational headquarters location

n = 308



- 本調査では、308機関から回答を受領。回答者の内、71%は投資マネジャーで、続いて財団(Foundation)の11%。
- 回答者の地域分布は49ヶ国で、先進国が大半(74%)であり、北米と欧州が34%ずつを占める。

インパクト投資家の分類

Investor group	Description	n	% of full sample
先進国向けがメイン	Respondents that allocate $\geq 75\%$ of their impact AUM to developed markets	143	51%
発展途上国がメイン	Respondents that allocate $\geq 75\%$ of their impact AUM to emerging markets	137	49%
プライベート・エクイティがメイン	Respondents that allocate $\geq 75\%$ of their impact AUM to private equity	98	51%
プライベート・デットがメイン	Respondents that allocate $\geq 75\%$ of their impact AUM to private debt	49	25%
プライベートマーケットがメイン	Respondents that allocate $\geq 75\%$ of their impact AUM to private equity and/or private debt	184	78%
パブリックマーケットがメイン	Respondents that allocate $\geq 75\%$ of their impact AUM to public equity and/or public debt	28	12%
市場の期待利回り並みを追求	Respondents that principally target risk-adjusted, market-rate returns	226	74%
市場の期待利回り未満も検討	Respondents that principally target below-market-rate returns, some closer to market-rate and some closer to capital preservation	81	26%
AUM \$100M以下	Respondents with total impact investment AUM \leq USD 100 million	148	49%
AUM \$100M超 – 500M以下	Respondents with total impact investment AUM $>$ USD 100 million and \leq USD 500 million	76	25%
AUM \$500M超	Respondents with total impact investment AUM $>$ USD 500 million	81	27%
インパクト投資のみ	Respondents that allocate 100% of their AUM to impact investing	191	63%
インパクト投資以外も実施	Respondents that allocate at least some of their AUM to conventional investments	113	37%

主なインサイト

- 投資先の所在国、投資対象のアセットクラス、期待利回り、運用規模など、多様性に富んだインパクト投資家の実態が明らかになった。
- インパクト投資家の内、インパクト投資のみに従事すると回答した割合は63%に留まり、37%はインパクト投資以外にも取り組んでいた。(次葉に続く)

インパクト投資家の多様性

FIGURE 3: Impact-only investors by organization type

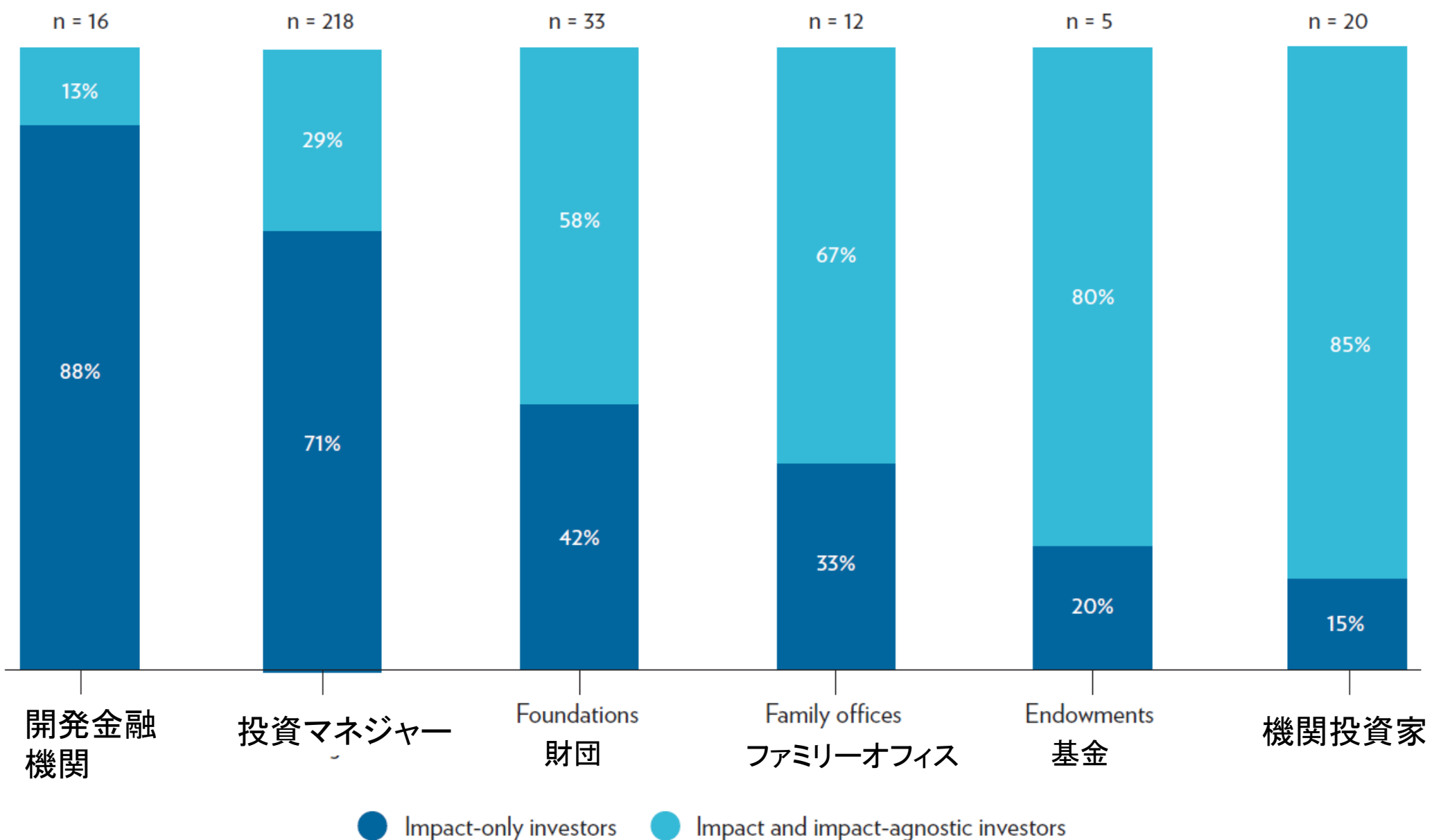
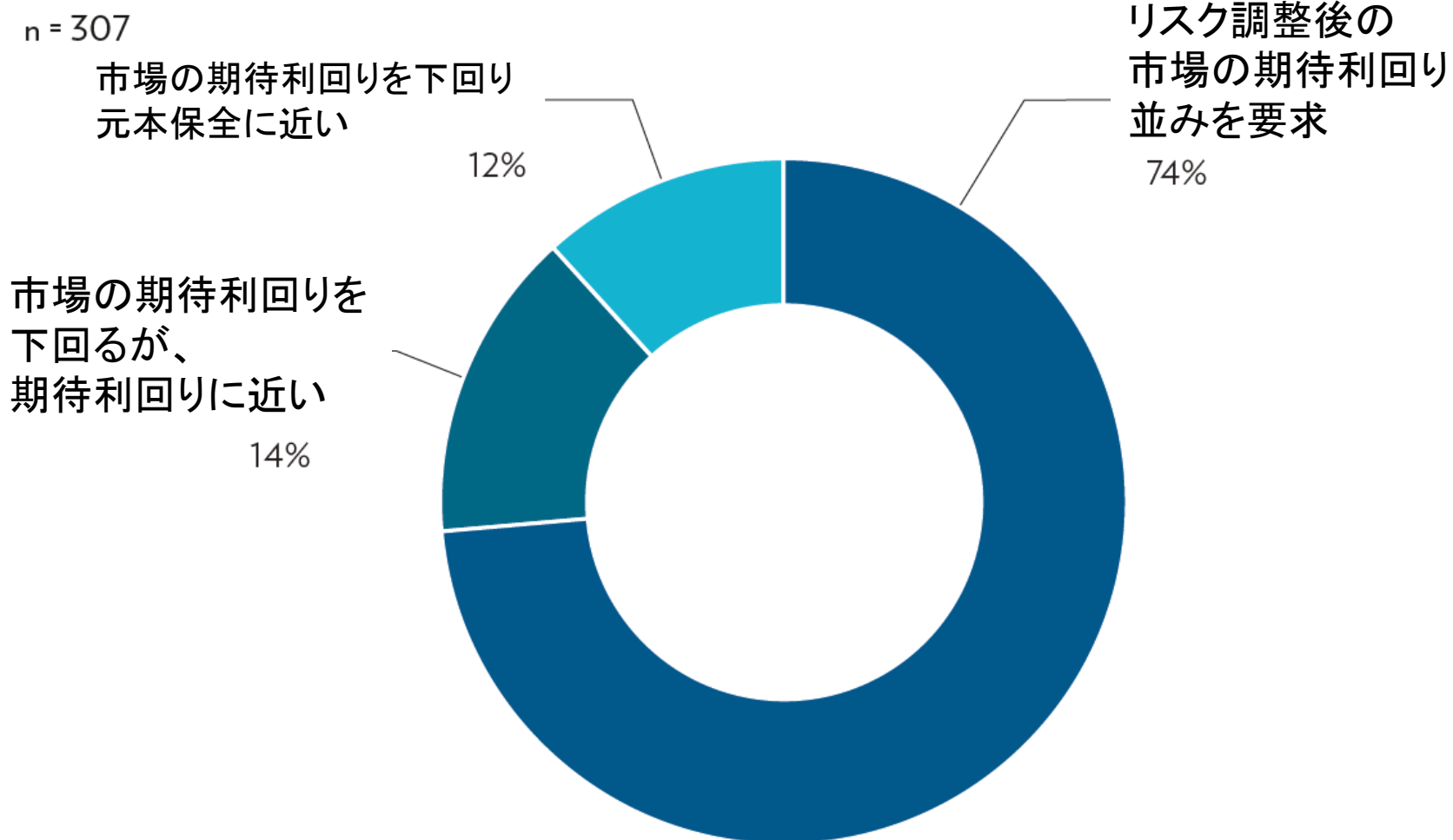


FIGURE 4: Target financial returns



主なインサイト

- 「インパクト投資のみに取り組む」の回答率は、投資家の属性によってバラツキがみられ、機関投資家の85%が「インパクト投資以外にも取り組んでいる」と回答している。
- 大半(74%)のインパクト投資家は、「市場の期待利回り並みを追求する」と回答しており、この傾向は資産運用規模が大きくなるにつれて高まっていた(AUM\$500M超の大型投資家に絞ると90%)。

Volume 2 Impact Investing Allocations, Activity & Performance

インパクト投資家の資産配分、活動状況
及びパフォーマンス



運用資産規模

FIGURE 1: Distribution of impact AUM (in USD millions)

n = 305; represents a total impact AUM of USD 371 billion showing the 5th through 95th percentiles.

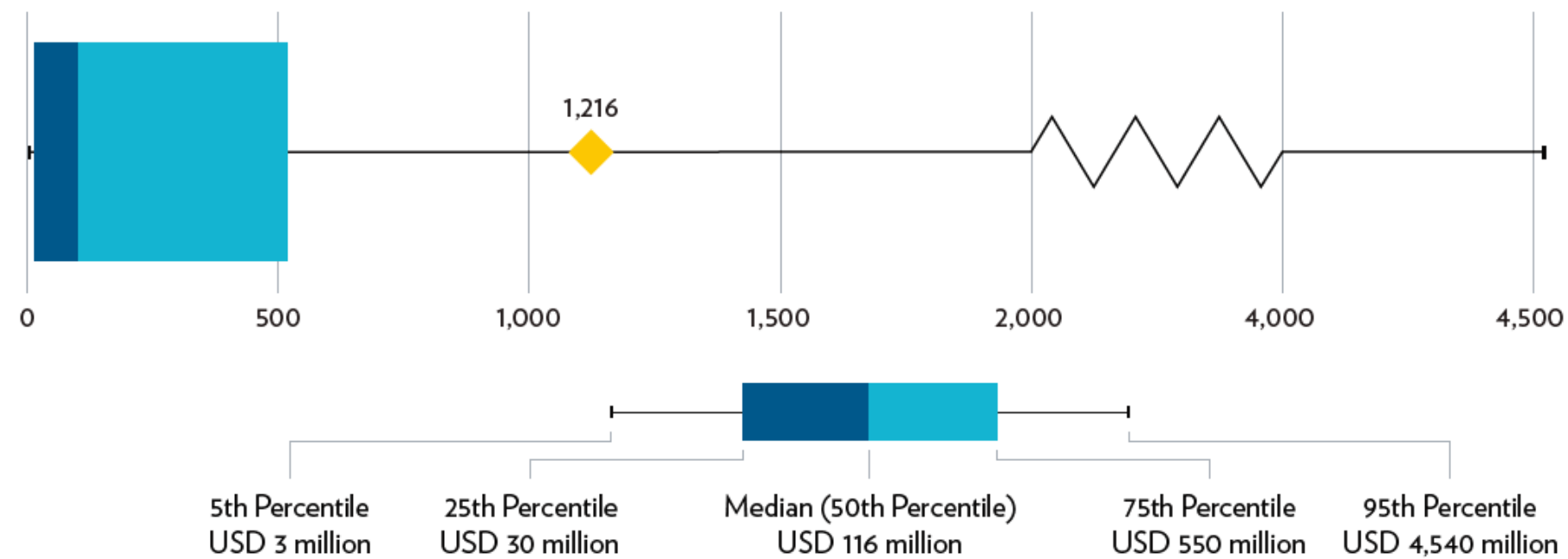
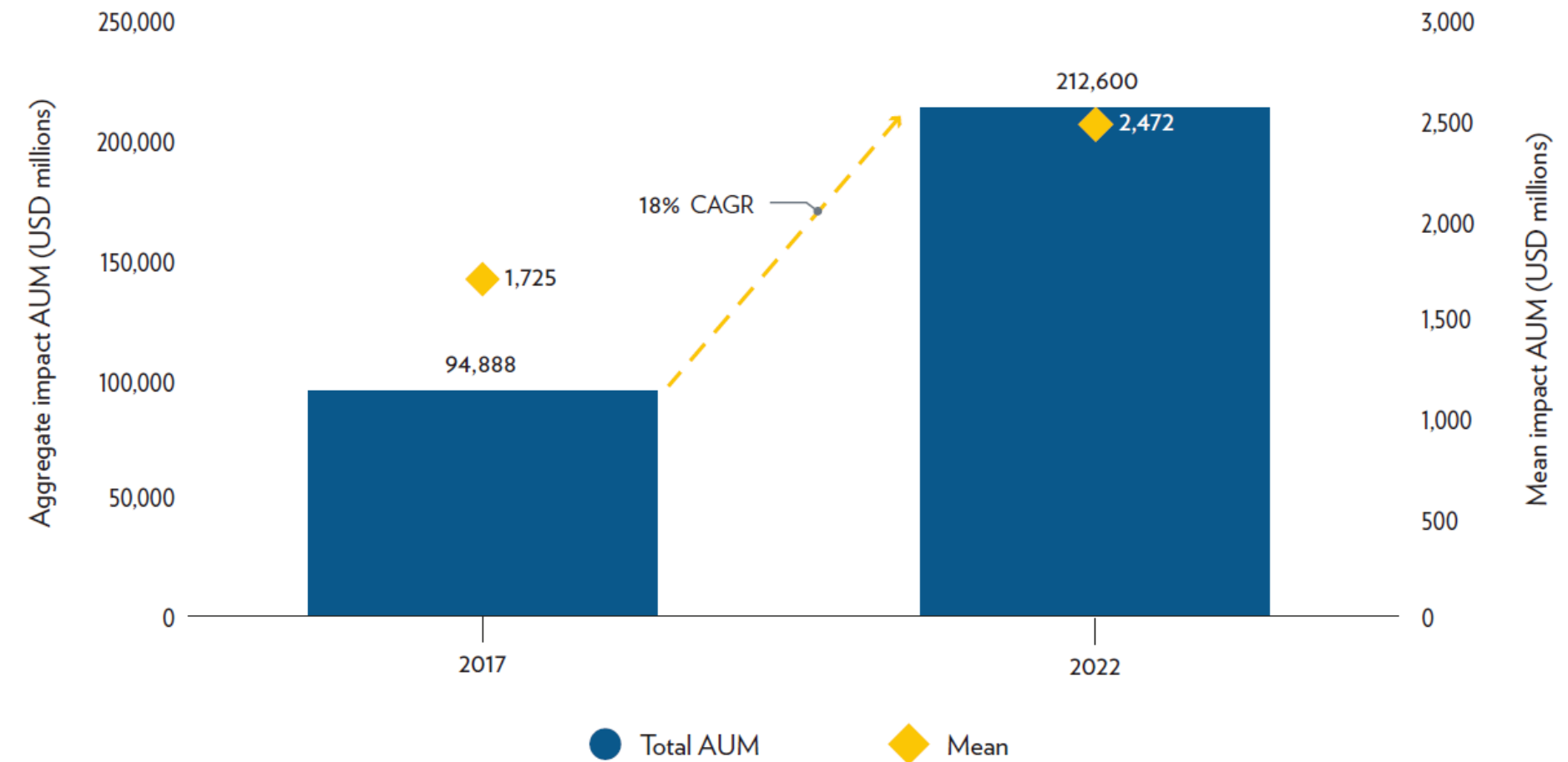


FIGURE 2: Impact AUM growth over a five-year period

n = 88



主なインサイト

- サンプル全体のAUMは3,710億ドル 中央値は1.16億ドル。対して、平均は12.16億ドル。上位5社が全体AUMの47%を占めていることによるもの。
- 直接投資が77%を占めており、間接投資(Fund等を経由)は23%と少数派。
- 継続回答者(88機関)を対象とすると、5年間でCAGR(年平均成長率) 18%の規模で成長。

地域分布

FIGURE 3: Investor asset allocations by geographic region

n = 303; AUM = USD 198 billion

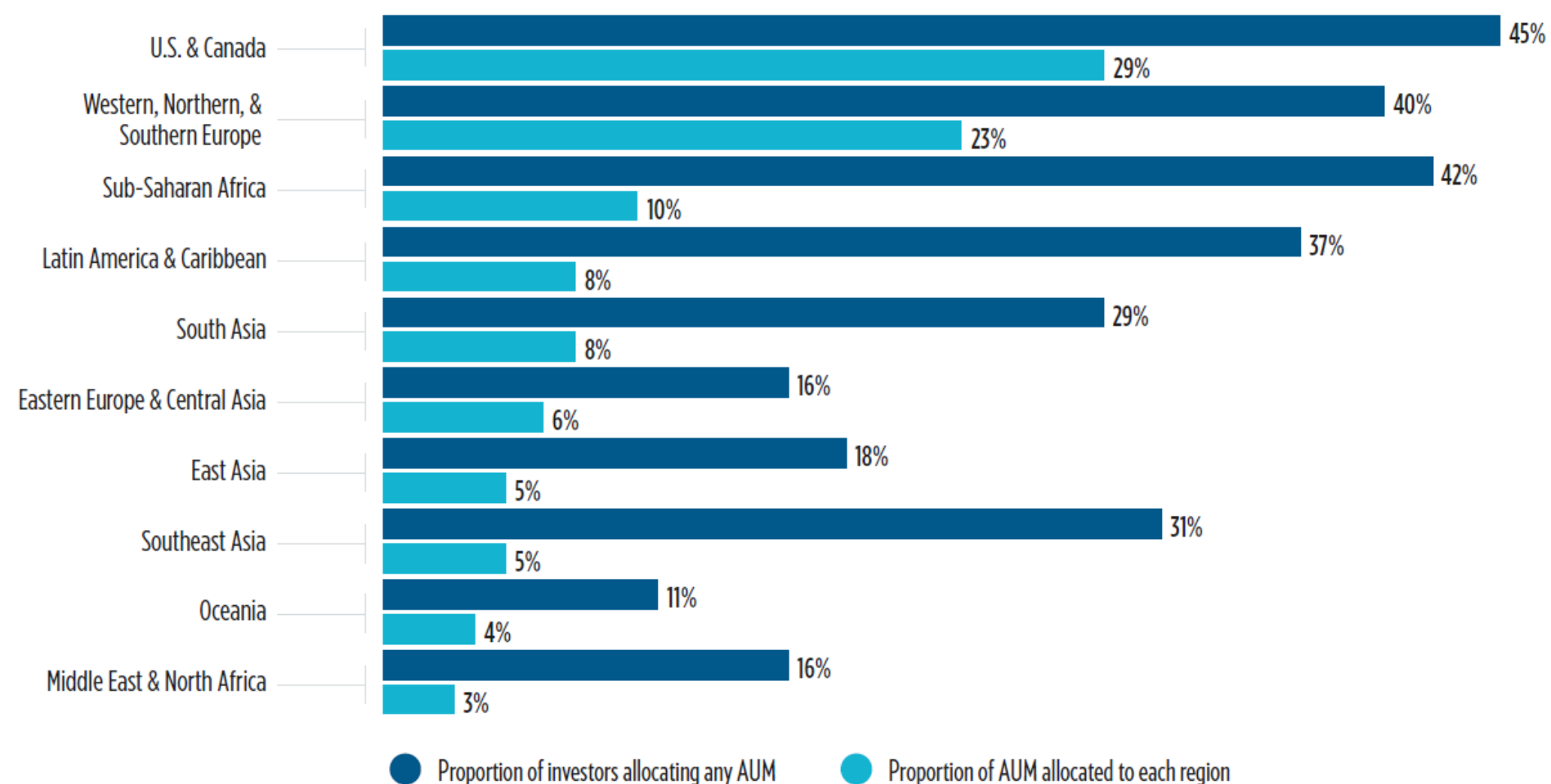


TABLE 1: Growth rates in allocations across geographic regions

n = 88

Region	2017 (USD millions)	2022 (USD millions)	CAGR
U.S. & Canada	4,190	35,642	53%
Western, Northern, & Southern Europe	4,479	18,896	33%
East Asia	6,762	17,903	21%
Latin America & Caribbean	17,887	46,601	21%
Oceania	3,190	6,826	16%
South Asia	10,789	21,706	15%
Sub-Saharan Africa	12,940	25,132	14%
Southeast Asia	6,029	7,001	3%
Eastern Europe & Central Asia	15,198	17,563	3%
Middle East & North Africa	8,665	8,478	-0.4%

主なインサイト

- 当該地域に1つ以上の投資実績がある地域では、北米(45%)、サブサハラ(42%)の順。AUMベースでは、北米(29%)、ヨーロッパ(東欧除く)(23%)の順。
- 北米(CAGR53%)を中心に運用規模は拡大している。今後5年間で約3分の1の回答者がサブサハラ・アフリカの投資を、約4分の1の回答者がラテンアメリカの投資を増やすと回答。

セクター分布

FIGURE 4: Investor asset allocations by sector

n = 303; AUM = USD 198 billion

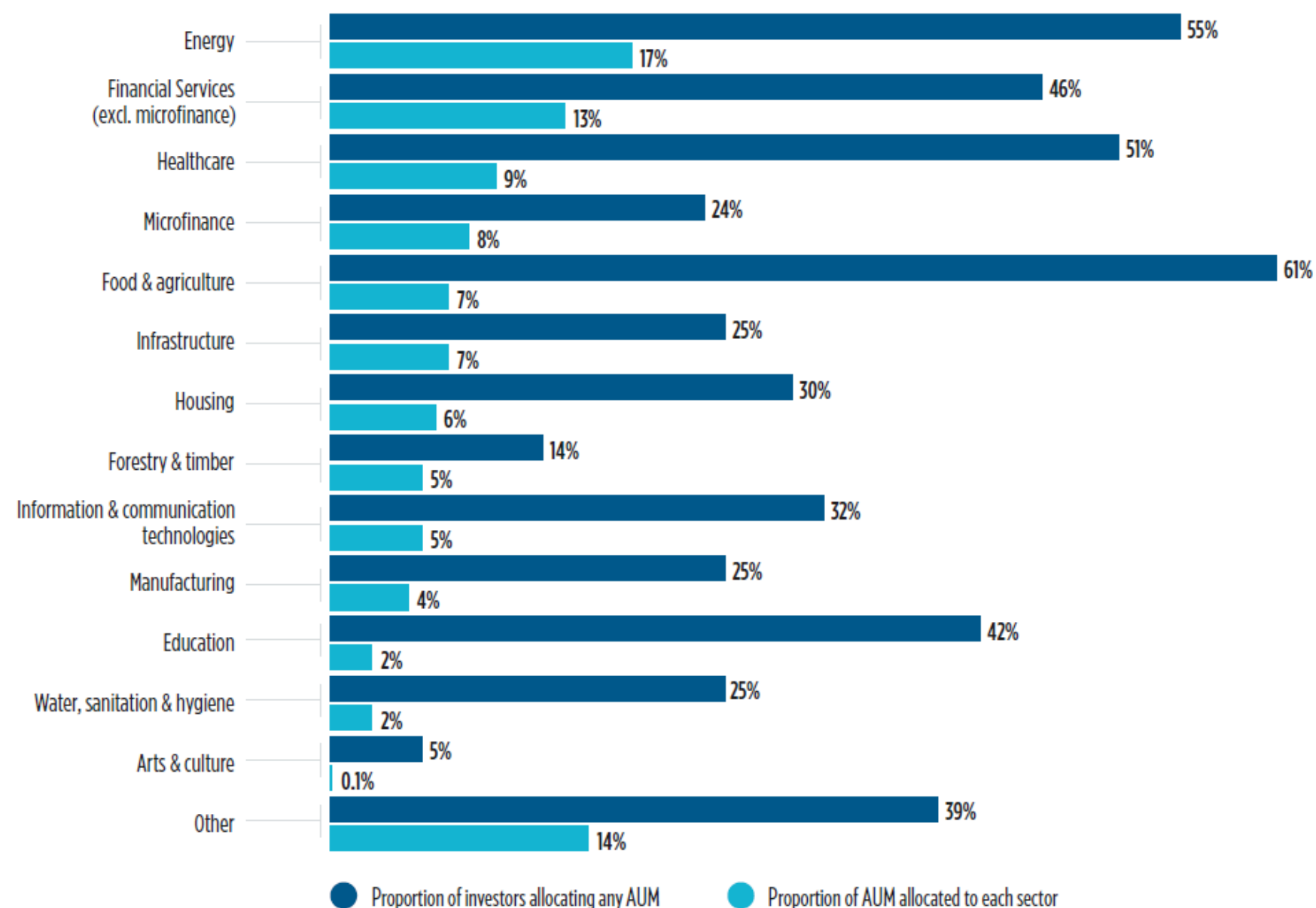


TABLE 2: Growth rates in allocations across sectors

n = 88

Sector	2017 (USD millions)	2022 (USD millions)	CAGR
Housing	2,302	14,104	44%
Information & communication technologies	2,170	7,935	30%
Manufacturing	3,854	13,408	28%
Healthcare	4,349	13,798	26%
Energy	11,001	32,717	24%
Financial services (excl. microfinance)	23,862	61,806	21%
Food & agriculture	6,538	13,031	15%
Infrastructure	6,792	12,642	13%
Microfinance	8,215	13,364	10%
Education	3,761	4,135	2%
Water, sanitation & hygiene	3,942	4,244	1%
Arts & culture	165	93	-11%
Other	17,936	21,324	4%

主なインサイト

- 投資実績のあるセクターでは、食料・農業(61%)、エネルギー(55%)、ヘルスケア(51%)の順。AUMベースでは、エネルギー(17%)、金融(13%)、ヘルスケア(9%)の順。教育、水・衛生は僅か2%に留まる。
- 成長率は、住居(CAGR44%)が最も高く、続いて情報通信技術(同30%)が続く。

アセットクラス

FIGURE 6: Investor allocations across asset classes

n = 303; AUM = USD 198 billion

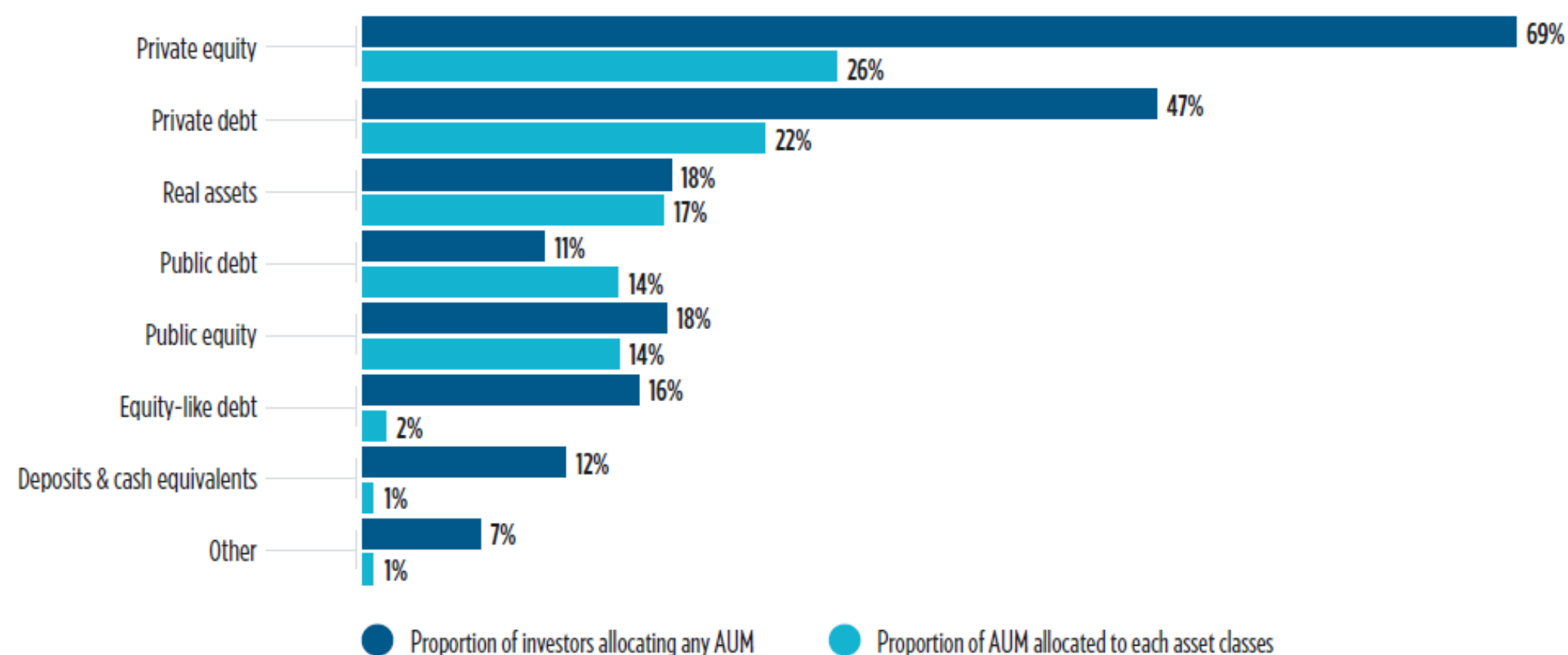


TABLE 3: Growth rates in allocations across asset classes

n = 86

Asset class	2017 (USD millions)	2022 (USD millions)	CAGR
Public debt	547	17,819	101%
Real assets	5,166	17,028	27%
Private equity	21,903	55,700	21%
Public equity	5,522	10,629	14%
Private debt	54,553	99,206	13%
Deposits & cash equivalents	577	490	-3%
Equity-like debt	6,452	3,524	-11%
Other	170	8,029	116%

主なインサイト

- 投資実績のあるアセットクラスは、プライベート・エクイティ(69%)が最大、続いてプライベート・デット(47%)とプライベートマーケットが牽引する。
- 一方、成長率はパブリックマーケットが高く、上場株(CAGR 14%)、プライベート・デット(同101%)。実物資産の成長率も並んで高い(同27%)

投資ステージ分布

FIGURE 7: Investor asset allocations across stages of business

n = 303; AUM = USD 198 billion

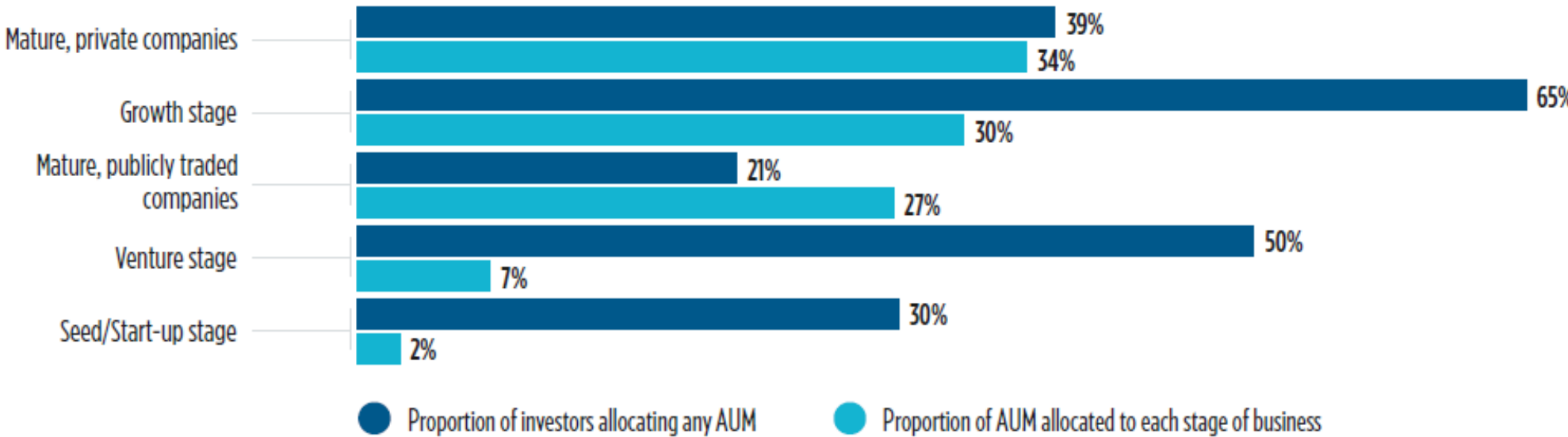


TABLE 4: Growth rates in allocations across stages of business

n = 81

Stage of business	2017 (USD millions)	2022 (USD millions)	CAGR
Mature, publicly traded companies	2,108	17,889	53%
Growth stage	6,133	32,002	39%
Venture stage	1,125	5,181	36%
Mature, private companies	10,224	44,927	34%
Seed/Start-up stage	519	1,098	16%

主なインサイト

- AUMベースでは、成熟/非上場企業が34%と最も割合が高く、グロース(30%)が続く。
- 一方、投資実績のある投資ステージではグロースが最も高く65%、続いてベンチャーが50%。
- 成熟/上場企業は、AUMベース27%と、依然、非上場企業には及ばないが、CAGRは53%と非常に高く、上場大企業がインパクト投資市場で果たす役割の大きさについて、投資家の認識が広まりつつある傾向が、反映される結果となった。

セクター分布

FIGURE 8: Investment activity between 2017 and 2022

n = 88; capital invested in USD millions

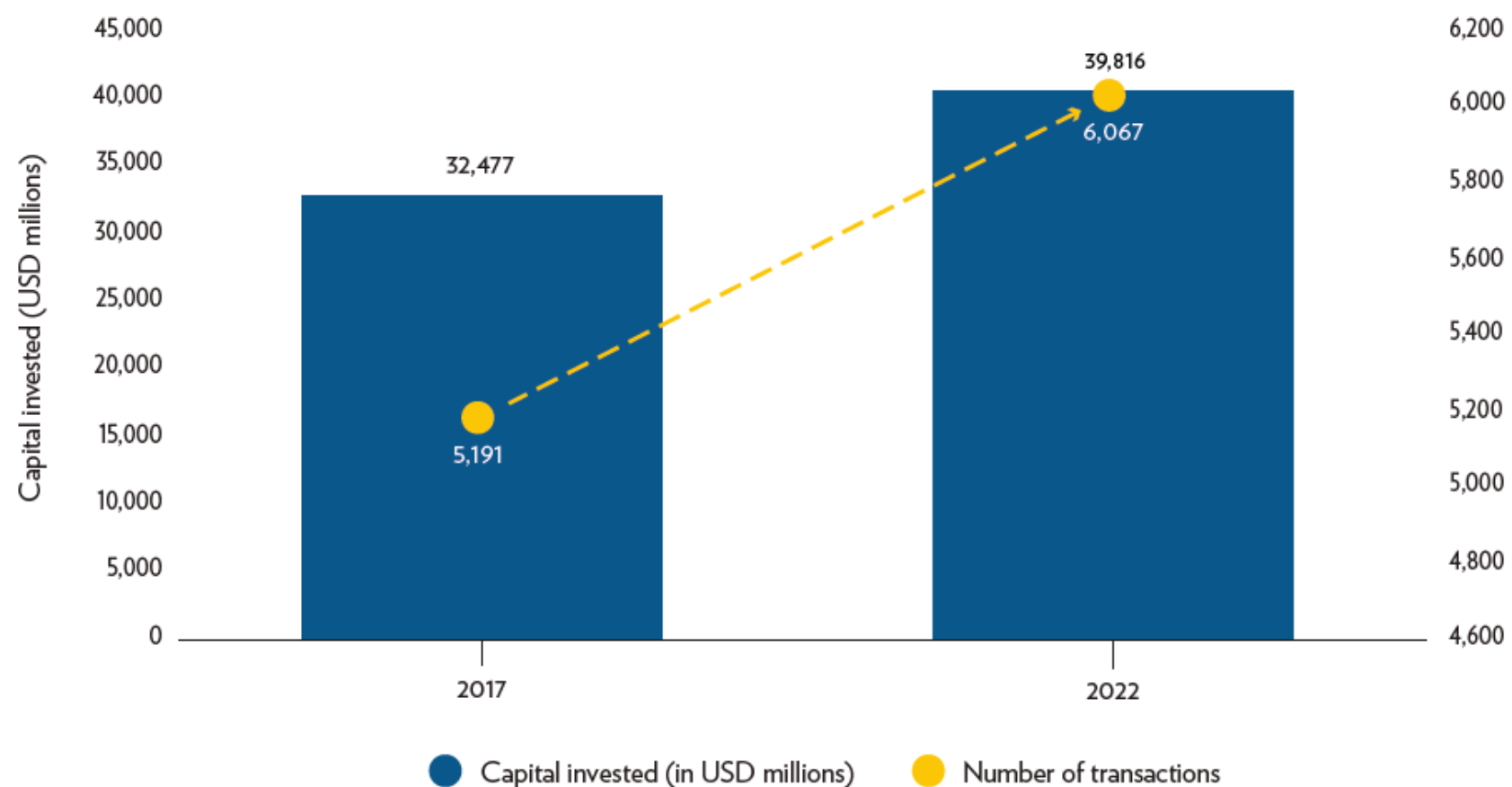
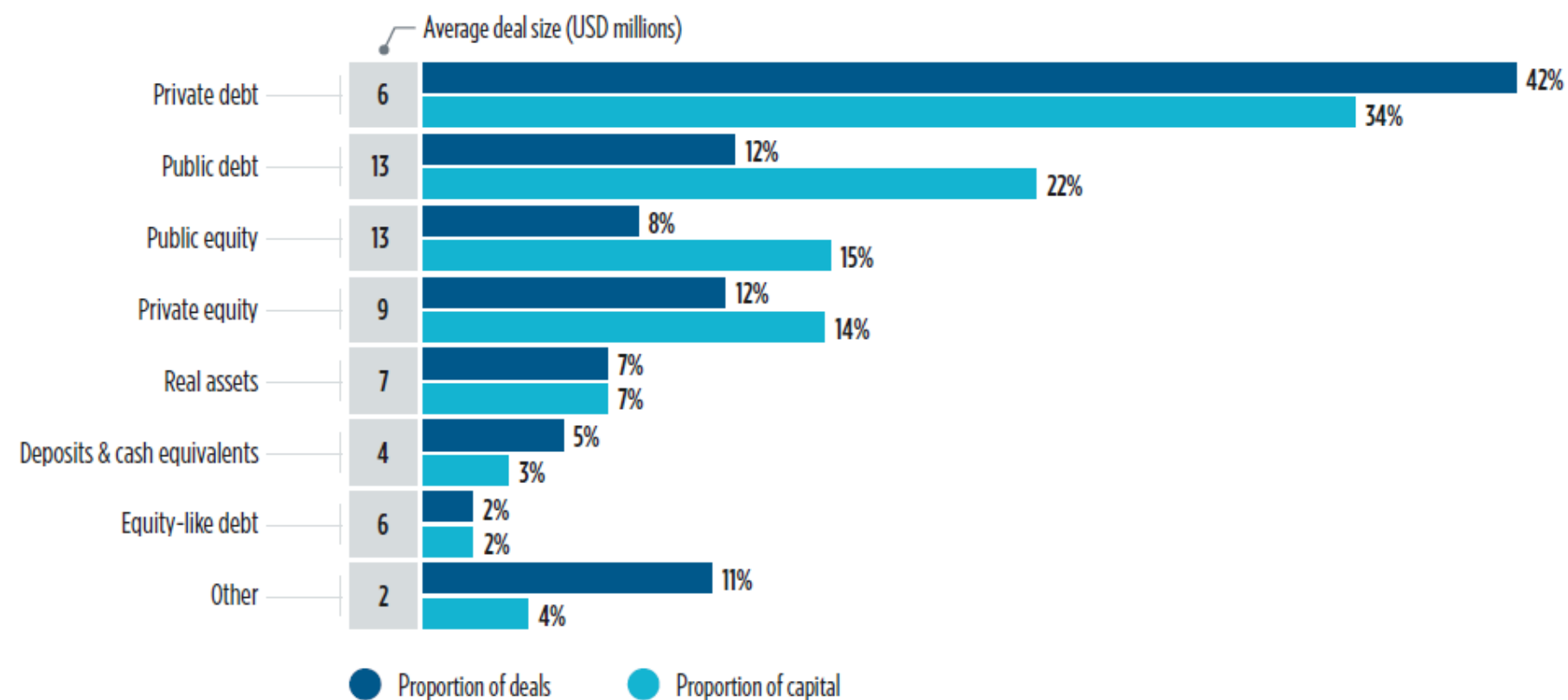


FIGURE 9: Capital invested and number of transactions, by asset class

n = 276; volume of capital invested = USD 67 billion; number of deals = 9,331



主なインサイト

- サンプル全体での2022年のインパクト投資実績は、820億ドル。案件数は9,750件で、平均35件、中央値8件。サンプルの92%は2022年に少なくとも1件の投資実績あり。
- 2018年調査からの継続回答者(88機関)を対象とすると、投下資本ベース、案件数ともに大きく伸びている。一方、ディールサイズは、ほぼ成長がみられなかった(約6百万ドル/件)。
- 案件規模は、アセットクラスによって大きく異なっており、特にパブリックマーケット(上場株、パブリック・デット)が約1,300万ドル/件と大きいですが、案件数ベースでは5分の1に留まる。案件数ベースではプライベート・デットが42%と最大。

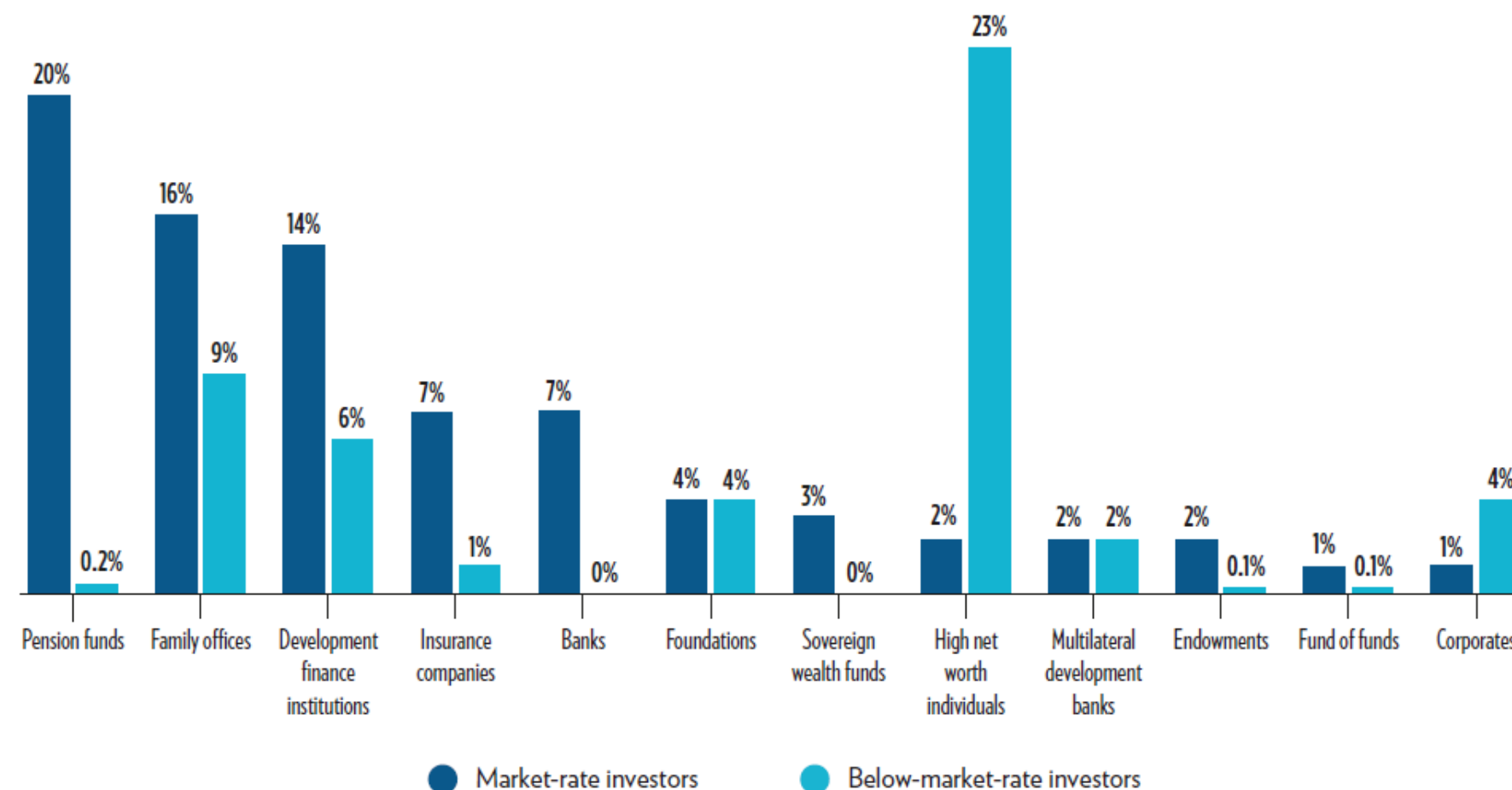
ファンドレイズ

USD 85 MILLION
average amount of capital
raised in 2022

USD 160 MILLION
average amount of capital
raise projected for 2023

Figure 10: Sources of capital for investment managers by target returns

n = 218; AUM = USD 152 billion



Source: Global Impact Investing Network (GIIN), 2023 GIINSight: Impact Investing Allocations, Activity & Performance

主なインサイト

- 投資マネジャーがインパクト投資業界に果たす役割は大きく、投資マネジャーあたり2022年は平均8,500万ドルのファンドレイズ実績が、2023年には1.6億ドルとほぼ倍増すると見込まれている。
- 資金提供者は、年金ファンドが20%と最大で、続いてファミリーオフィス(15%)、開発金融機関(14%)、保険会社(7%)の順。
- 投資家の利回り目線によって、資金提供者は差があり、市場の期待利回り未満も検討する投資家は、個人投資家が23%で、年金ファンドは僅か0.2%に留まった。

期待利回り/パフォーマンス

FIGURE 11: Target financial returns by organization type

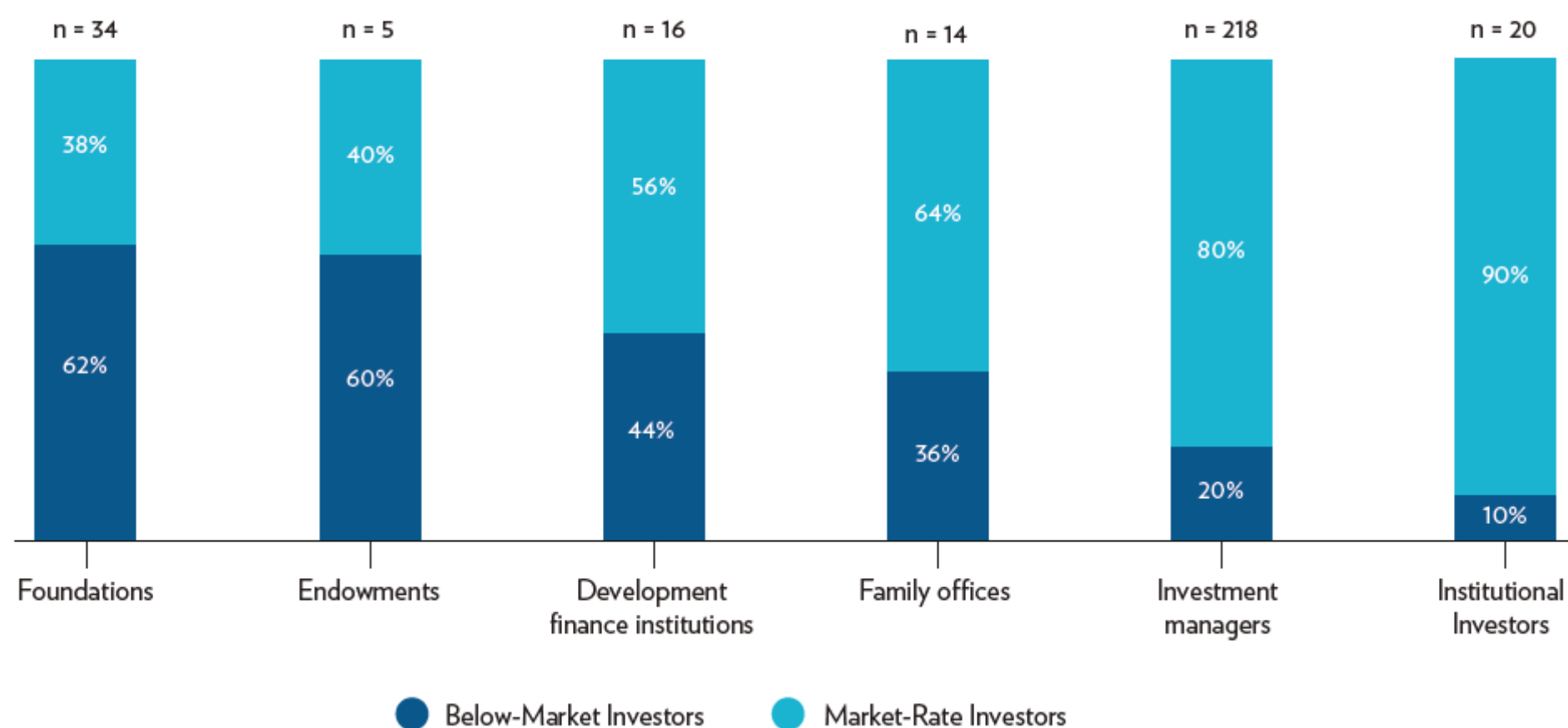
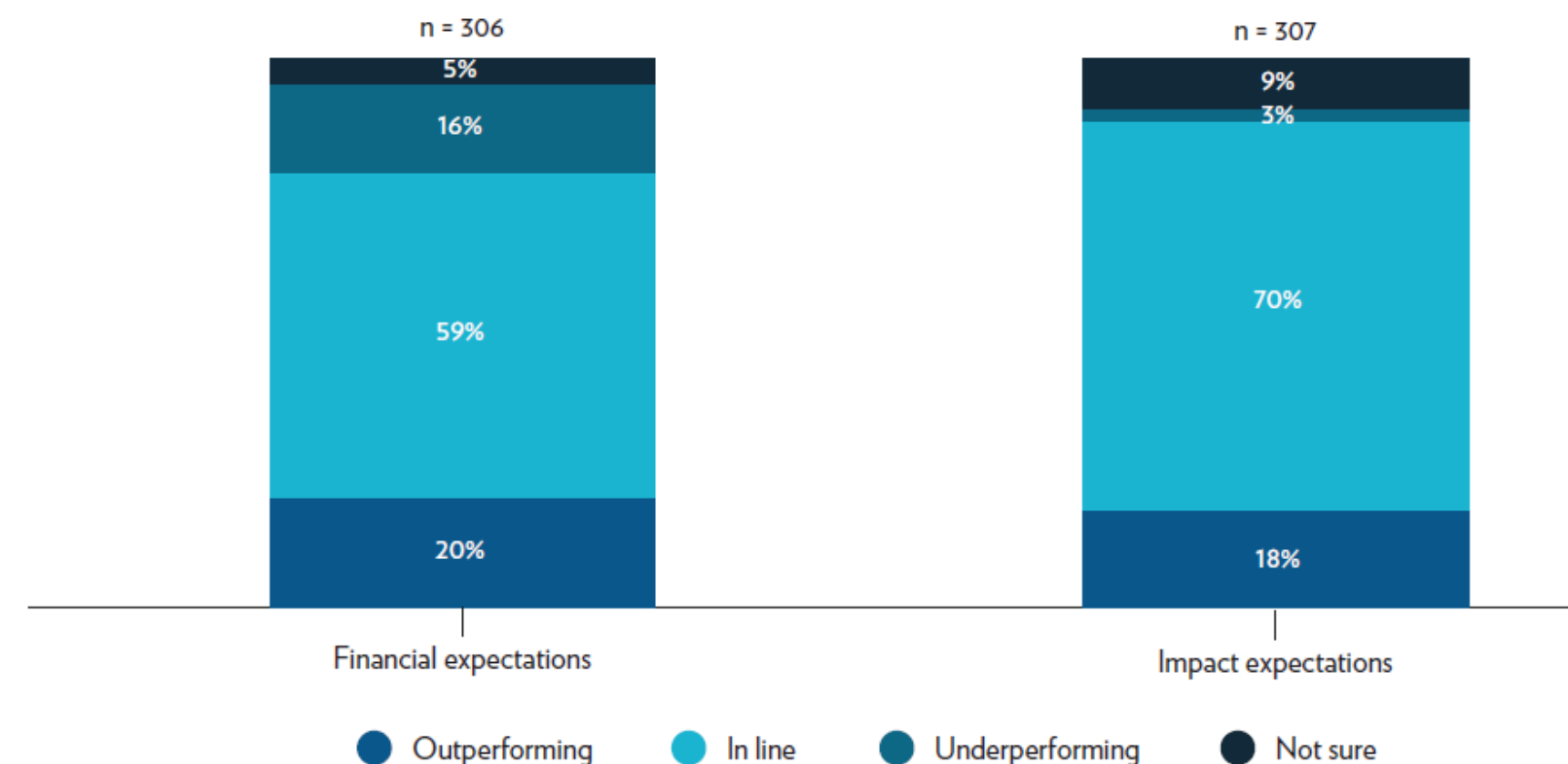


FIGURE 12: Financial and impact performance relative to expectations



主なインサイト

- サンプル全体では、市場の期待利回り並みを追求するインパクト投資家が74%と大半を占める。
- 一方、期待利回りは、投資家の属性により異なっており、機関投資家は90%が市場の期待利回り並みを求めているのに対し、財団(Foundation)は38%と少数派であった。
- 期待値に対するパフォーマンスの実績としては、財務、インパクト共に期待値並み、または期待値以上との回答が大多数を占める結果となった。
- 財務面では、期待を下回ると回答した割合が16%を占めたのに対し、インパクト面では期待を下回ると回答したのは僅か3%に留まった。

ご利用条件

本資料は一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（Social Impact Management Initiative: SIMI）（以下「当法人」といいます）が運営するSIMIグローバルリソースセンター（以下「本ウェブサイト」といいます）に掲載されているものです。

本ウェブサイトを利用される前に以下の利用条件をお読みいただき、これらの条件にご同意された場合のみご利用ください。本ウェブサイトをご利用されることにより、以下の条件にご同意されたものとみなします。

なお、以下の条件は、予告なしに変更されることがあります。本条件が変更された場合、変更後の利用条件に従っていただきます。あらかじめご了承ください。

1. 著作権について

本ウェブサイト上のすべてのコンテンツに関する著作権は、特段の表示のない限り当法人および当該資料の原著の作者に帰属しております。そのすべてまたは一部を、法律にて定められる私的使用等の範囲を超えて、無断で複製、転用、改変、公衆送信、販売などの行為を行うことはできません。

2. 免責事項

本ウェブサイトは、社会的インパクト・マネジメントに関連する海外の文献や資料を、日本語に訳しまとめたものを、著者及び出版元の許可を得て掲載しています。本ウェブサイトに掲載されているコンテンツは、あくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英語の原文を参照していただくよう、お願いいたします。

誤りのないようあらゆる努力をしておりますが、誤訳、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して、当法人関係者及び当ウェブサイトは、一切の責任を負わないものといたします。

当法人は、予告なしに、本ウェブサイトの運営を中断または中止、掲載内容を修正、変更、削除する場合がありますが、それらによって生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。また本ウェブサイトのご利用によりご使用者様または第三者のハードウェアおよびソフトウェア上に生じた事故、データの毀損・滅失等の損害について一切責任を負いません。

3. リンクについて

営利、非営利、イントラネットを問わず、本ウェブサイトへのリンクは自由です。ただし、公序良俗に反するサイトなど、当社の信用、品位を損なうサイトからのリンクはお断りします。また事前事後にかかわらず、その他の理由によりリンクをお断りする場合があります。

4. 資料の引用について

本ウェブサイト上に掲載された日本語まとめ、抄訳及び翻訳資料を引用する際には、出典の著作者名として「一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）グローバルリソースセンター」及び当該資料の原著の著作者名を、併せて明記ください。なお、引用の範囲を超えられる場合は、当法人および当該資料の原著の著作権者に了解を得てください。